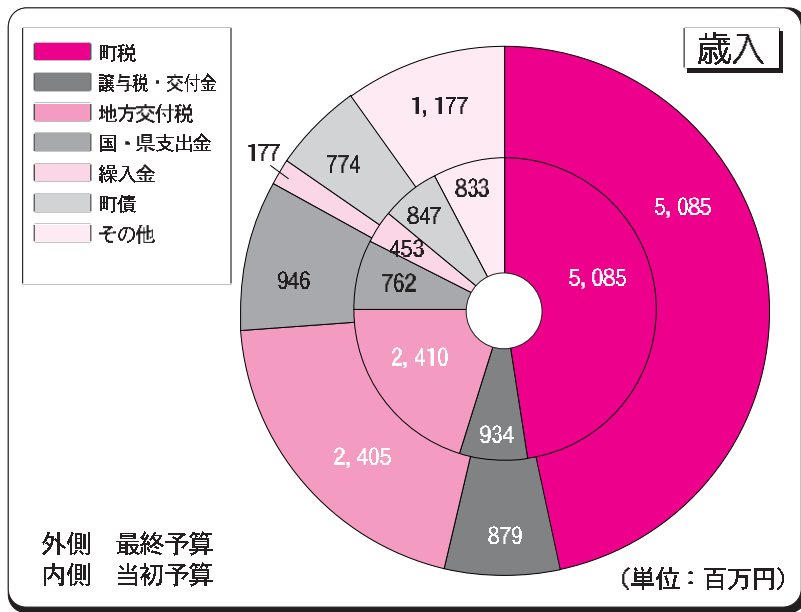
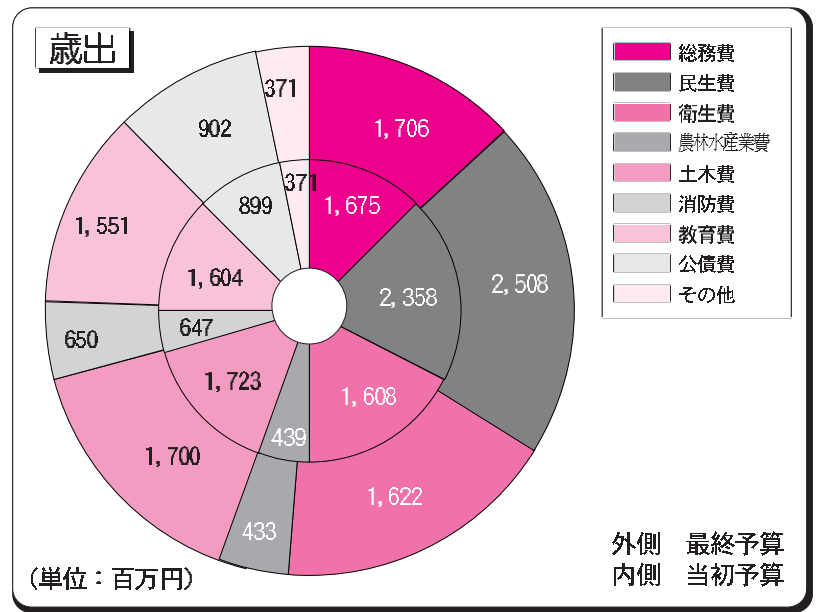


◆平成19年度一般会計最終予算◆

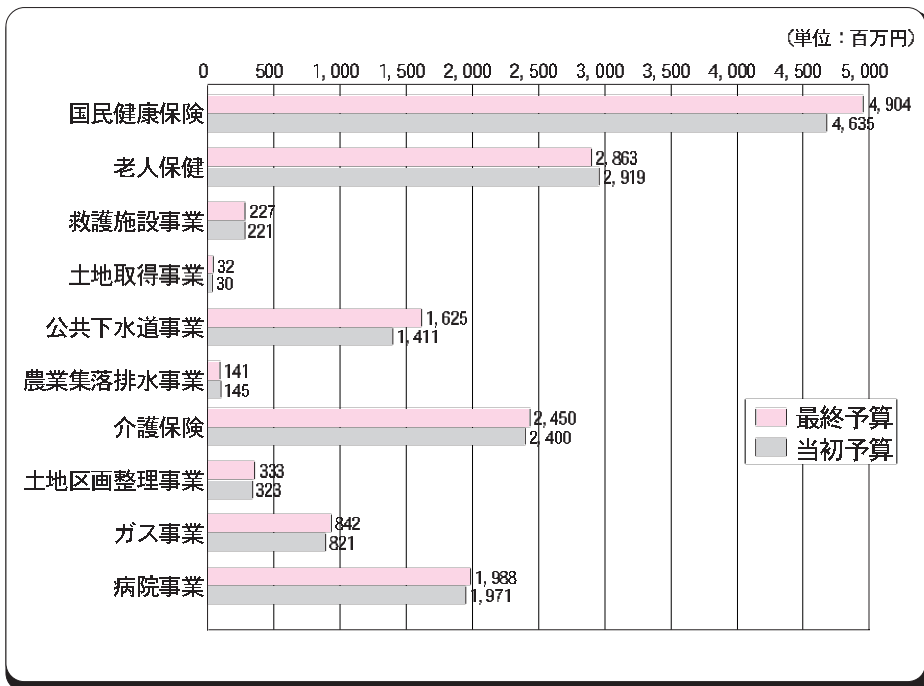
歳入では、当初見込みより教育施設の普通建設事業に係る国庫支出金が多かったため、相対的に町債の借入額が減少しています。一方、歳出では、後期高齢者医療制度導入準備に係る費用等により、主に民生費が増加しています。



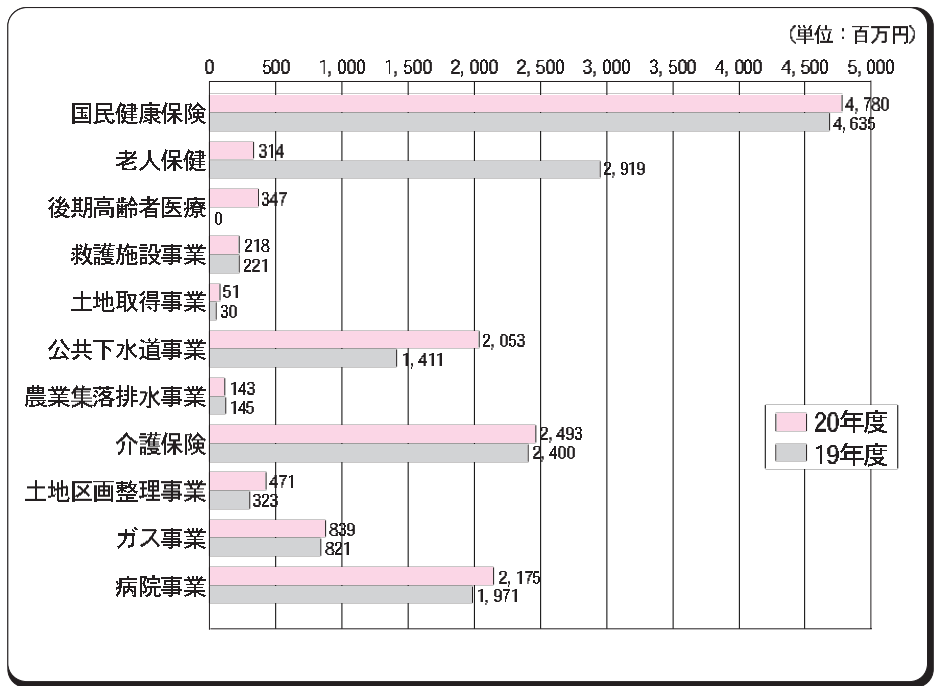
当初予算
113億2,400万円
最終予算
114億4,320万円



◆平成19年度特別会計・企業会計最終予算◆



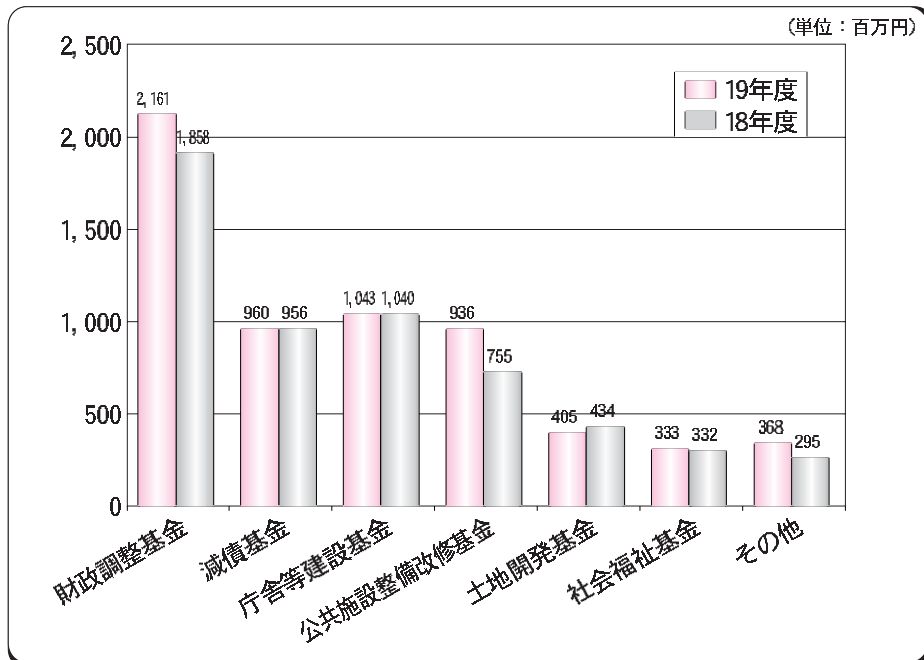
◆平成20年度特別会計・企業会計予算の状況◆



国民健康保険特別会計が保険給付費の増加により、公共下水道事業特別会計が町債繰上償還の影響により、それぞれ当初予算から増加しています。

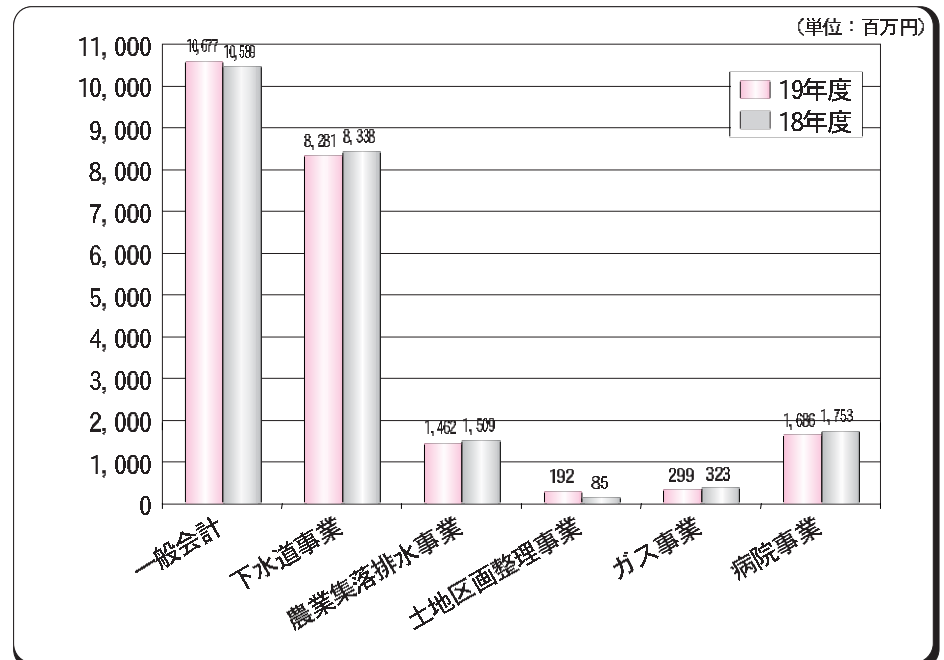
後期高齢者医療制度の開始に伴い、新たに後期高齢者医療特別会計が設置され、老人保健特別会計が大幅に減額になっています。平成19年度に引き続き、町債の繰上償還を行う影響で、公共下水道事業特別会計は増額予算となっています。

◆基金現在高の状況◆



平成19年度末の基金現在高は、総額で約62億600万円となります。平成18年度末より約5億3,600万円増える見込みで、その内訳として、財政調整基金が約3億300万円、公共施設整備改修基金が約1億8,100万円増えています。なお、平成20年度は一般会計で約6億4,400万円の取り崩しを予定しています。

◆借入金現在高の状況◆



平成19年度末借入金現在高は、一般会計で約106億7,700万円、特別会計・企業会計合計で約119億2,000万円となる見込みです。一般会計では平成18年度末より約8,800万円増えていますが、特別会計では約8,800万円減少しています。平成20年度には一般会計で6億6,810万円、特別会計・企業会計合計で5億9,500万円（借換債除く）借り入れる予定です。